

議会だより

2018.10.27

No. 179

山梨県昭和町議会

<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

しょうわ



社会福祉協議会主催
マスつり大会の様子

聴く！見る！動く！

9月議会で決まったこと

一般質問 ここが聞きたい

議員記者が行く！社会福祉協議会

②

⑥

⑩

②②

●表題(しょうわ)については
「押原小学校 6年2組

窪田 玲奈 さん(くぼた れいな)」の直筆です。

見る！ 動く！



動

議会としての対応

県への要望を含めて 町当局に改善を依頼

現地を訪れたところ、柵等の転落防止設備の未整備な部分を確認した。鎌田川は基本的に県管理であるが、当該箇所は、町管理地なども混在すると認められたため、県への要望を含めて町当局に改善を依頼した。

段階的な防災知識の 周知徹底を行っていく

状況確認した結果、防災についての情報を町民と行政が共有し、被害を抑えるためにどのようなことが必要か、段階的な防災知識の周知徹底を行っていくことが重要であると考え、適切な方法について検討していきたい。

災害時において その他近隣施設等の活用が できないか考える

釜無工業団地公園管理棟については2階座敷に避難住民が殺到すると施設の耐久性に懸念があり、危険な事態となるのではないかと印象を受けた。災害時においてその他近隣施設等の活用ができないか考えたい。

住民意見に 各常任委員会が対応

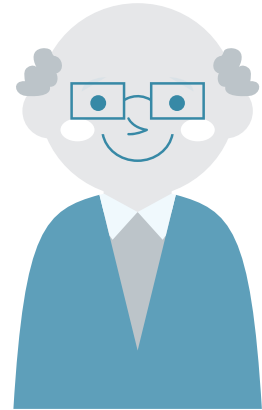
聴く!

聴

総務

【西条新田区から】

鎌田川の川沿いで、歩行可能であるものの、柵等が無く子供が川に転落する危険性があると思われる箇所がある。柵の設置等、早急な対策をお願いしたい。



産業 土木

9月の台風被害について、各地区の状況報告を受け、町内の被害状況の確認を行った。

担当課長も同行し、現状と今後の対応についての説明を受けた。



教育 厚生

【築地新居区から】

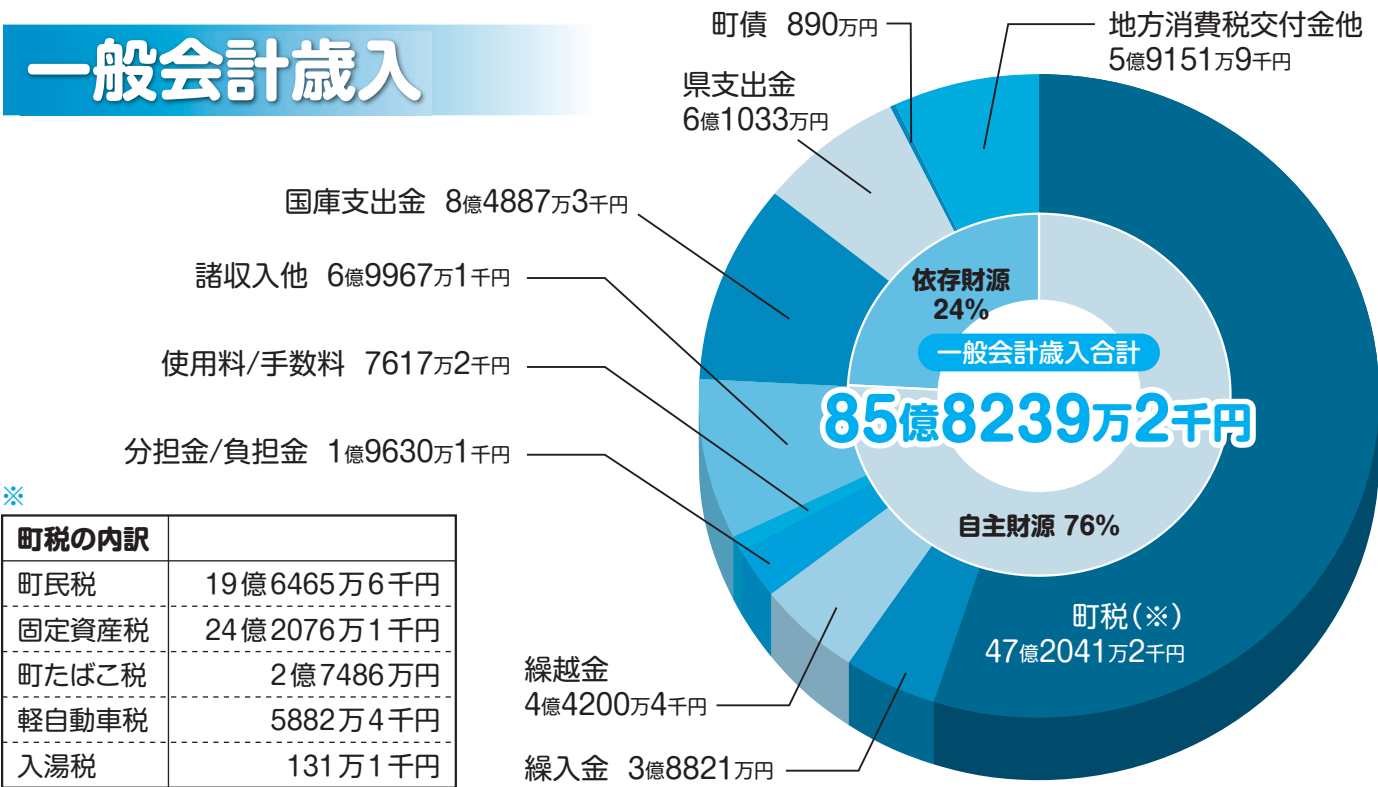
最近、大規模水害等が発生しており、隣接している釜無川が氾濫する可能性も否めない。

当区には釜無工業団地公園管理棟しか大きな公共施設はないので災害時の避難施設として当施設を活用したい。



健全な財政運営と認定

一般会計歳入



※

町税の内訳	
町民税	19億6465万6千円
固定資産税	24億2076万1千円
町たばこ税	2億7486万円
軽自動車税	5882万4千円
入湯税	131万1千円

平成29年度特別会計決算

会 計	歳入総額	歳出総額	結 果
国民健康保険特別会計	22億2671万4730円	20億3196万2654円	全員賛成で認定
後期高齢者医療特別会計	1億5225万9125円	1億5166万3100円	
介護保険特別会計	10億 949万2262円	9億4479万8306円	
介護サービス特別会計	2253万9272円	1998万 661円	
下水道事業特別会計	10億5646万5674円	10億2788万3198円	
渇水対策事業特別会計	870万3081円	764万1573円	
合 計	44億7617万4144円	41億8392万9492円	

平成29年度健全化判断比率等の状況

平成29年度決算に基づく健全化判断比率は、基準を下回っているため、“健全である”といえます。

《健全化判断比率》(%)

区 分	実質公債費比率	将来負担比率
比 率	7.5	—
早期健全化基準	25.0	350.0

《財政力指数》

H27	H28	H29
1.13	1.17	1.25

※地方自治体の財政力を示す指数。3年平均で1未満だと交付団体になる。

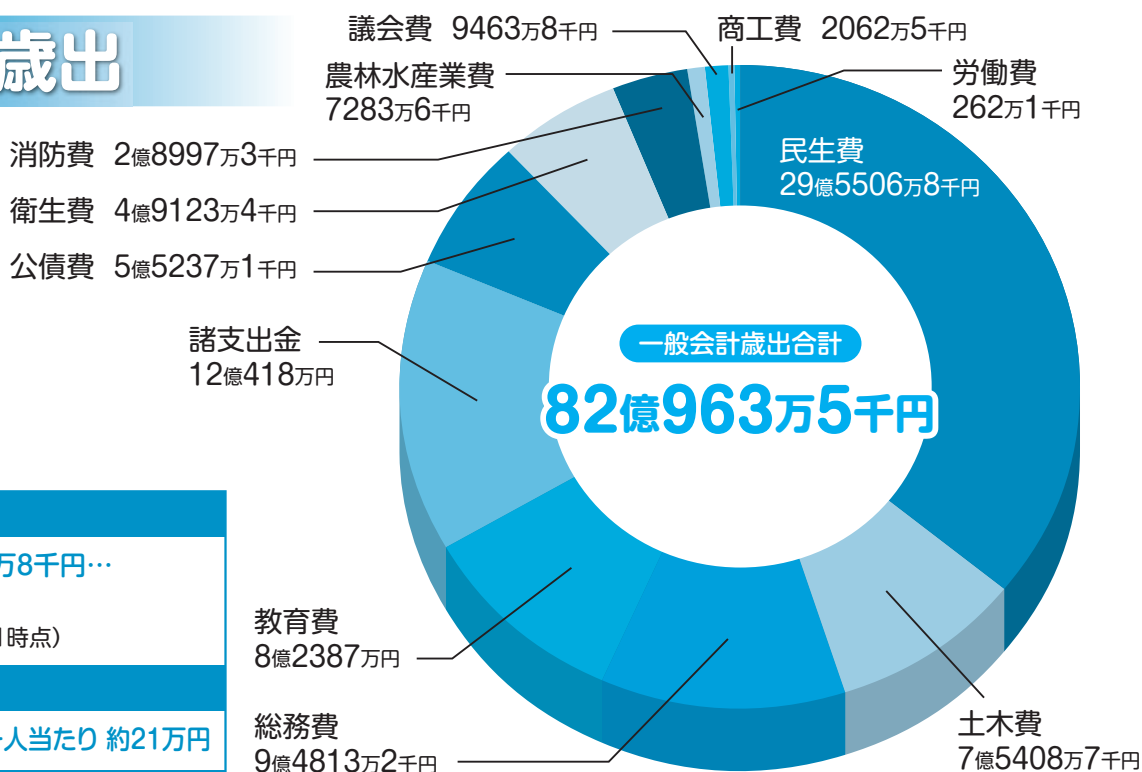
実質公債費比率は28年度と比べ、1.6%減少しました。将来負担比率は28年度より20.8%減少し、実質的な標準財政規模に対する負担比率は低くなりました。実質公債費比率・将来負担比率ともに比率が小さいほど財政状況は良いと判断します。



平成29年度決算

9月定例会の中において決算特別委員会が開催されました。第3回定例会で決算特別委員会に付託された、一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、介護サービス、下水道事業、湧水対策事業特別会計に対し、監査委員の意見書及び各課長から説明を受けました。いずれも慎重審査の結果、全員賛成で認定されました。

一般会計歳出



町債(借金)の累積残額

一般会計 約47億6293万8千円…

一人当たり 約23万円

※人口20,161人(H30.8.31時点)

基金(預金)の累積残額

約42億3129万2千円…一人当たり 約21万円

審査の意見

代表監査委員／石原政彦 監査委員／林 和仁

平成29年度昭和町一般会計及び特別会計予算に計上された各事務事業は、総じて順調な成果を収めているものと認められた。

財政構造の指標である財政力指数(1.25)は、前年度(1.17)に比べ上昇しており、実質公債費比率は、前年度(9.1)から(7.5)に下降している。一方、経常収支比率は(84.4%)で前年度比4.2%の増加であり、今後の財政運営を考えると、社会保障費等の扶助費の増大により、財政硬直化が懸念される状態でもあり、計画的な対応策を望むところである。基金においては、一般財政調整基金において一部取り崩しがあったものの、着実に積み立てられており、また、健全化判断比率等の状況は、いずれの指標も早期健全化基準を下回っているため健全であると確認した。なお、平成29年度末、一般会計、下水道事業特別会計及び債務負担行為を含む地方債現在額は、10,279,787千円で、前年度と同様に減額となっているが、今後、生涯学習館建設が予定される中、地方債の発行にあたっては、基金の取り崩し等も含め、財政構造の健全性を損なうことのなきよう十分留意されたい。

税収については、町税の50%強を占める安定した固定資産税がある一方、法人町民税については前年度比16.5%の減額となっており、企業からの税収への依存度が高い本町にとっては、今後も、企業の経営状況によって大きく税収が左右されることから、釜無・国母両工業団地企業を始め町内企業との関係を密にし、企業支援

策等も検討する中で、的確な対応をお願いしたい。

また、平成29年度に、固定資産税の課税誤りが発見され、町民の皆様にご心配、ご迷惑をかけたことは残念なことだが、このことを教訓とし、今後の事務執行に活かしていただきたい。

税金等の滞納については、平成26年度の収納課設置以降、法的手段等により、その成果が表れているところであるが、公平性を保つ観点からも、今後は、収納課が所管する以外の料金等の滞納についても、引き続き収納課と関係各課が連携する中で、町全体の問題として取り扱うようお願いしたい。納税者に対する丁寧かつ十分な説明により理解を得る努力をすることは当然であるが、滞納額の解消に向けて、効率的な滞納処分を実施し、特に悪質な滞納者に対しては毅然とした態度をもって臨むなど、一層の収納対策の強化を図られ、さらなる徴収率向上に努めていただきたい。

総括

適正なる行政運営が行われており、特に経費削減の取り組みや、事務事業の効率化が図られていたが、町民からの貴重な税金を無駄なく有効に活用するという姿勢で、今後も、更に経費節減に努める中で、効率的で効果的な町民生活に直結する優先度の高い施策を構築して、最小の経費で最大の効果を生み出せるような町民サービスの展開を望むものである。



決まったこと

平成30年9月定例会は、9月6日から21日まで16日間の会期で開きました。町長提出の条例関係2件、平成30年度一般会計および特別会計補正予算4案件のほか、決算関係の認定7案件、その他案件5案件を含めた計18案件を審議しました。一般質問では7人の議員が13件について活発な質問・意見を展開しました。

平成30年第3回定例会で決まったこと

〈詳細は11月末更新予定のHPの会議録をご覧ください。〉

※塚原 将司議員は議長のため、採決には加わっていません。

種別	案件名	堀門太	依田茂巳	金丸富一	薬袋義久	石原一好	中澤康夫	石原高明	林和仁	鷹野一雄	河住保茂	樋口敏夫	※塚原将司	田中博愛	遠藤辰男	三井猛	河田あけみ	審議結果
同意第3号	昭和町監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で同意
同意第4号	昭和町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で同意
認定第1号 認定第7号	平成29年度昭和町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で認定
議案第38号	昭和町障害者施策推進協議会設置条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
議案第39号	昭和町地域福祉基金条例廃止の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
議案第40号 議案第43号	平成30年度昭和町一般会計及び特別会計補正予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
議提第3号	太陽光発電設備の立地規制等に係る法整備等を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
請願第3号	教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で採択
意見書第2号	教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決

ほたるんに聞いてみよう!



ねえねえほたるん。
【議会で決まったこと】の決算の認定ってなに?



まず、「決算」について説明するね。「決算」というのは前の年、どのくらいお金が入ってきて、そのお金をなににどのくらい使ったかを表したものだ。その中で良かったところ、悪かったところを見直して、次の年のお金の使い道を決めるための大事なことなんだ。

次に「決算の認定」について説明するね。町のお金を管理している人とお金の使い道を監視している人(監査委員さん)が、ちゃんと見た「決算」を改めて議員さんが見て、『この使い方は考えたほうがいいですね』とか、いろいろな意見を町に伝えてから『「決算」の内容はわかりました。町民のみんなにも内容を知らせてあげてください。』っていうのが「決算の認定」なんだ。議会は使い終わったお金のことから町の未来を考える大事な役割もあるんだ!

決算審査委員会質疑

水質調査について

鷹野議員 河川の水質を定期的に調査しているが、どのように活用しているか。

環境経済課長 平成13年度に調査をはじめてから、現状河川の水質は改善もしくは維持されている状況。

更なる改善に向け、調査結果を活用していく。

部活動外部指導者について

石原(高)議員 部活動外部指導者が昨年度1名配置されたが、どんな状況か。

学校教育課長 土日のみの対応で1ヶ月、20時間以内となっている。平成30年度は2名配置。

差し押さえについて

塚原議長 滞納者への法的手段の執行として生命保険・年金の差し押さえをしているが、年金の差し押さえをして高齢者に影響はないのか。

また、生命保険の差し押さえはどの部分を押さえるのか。

収納課長 生命保険については該当する保険を調べ、金融機関の預金と同じように調べて本人の了承を得ながら解約してもらい解約金を納めてもらっている。

年金については最低限の必要経費を除いて納付をしてもらう。地方税法により年金及び生命保険料は差し押さえ対象になっており公平になるようにやむなく行っている状況である。

非常口誘導灯について

河住議員 工事請負費の中の非常口誘導灯の工事であるが、新規設置なのか、また、今あるものを新しく取り換えたのか。

総務課長 現状の非常口誘導灯が老朽化したため、蛍光灯からLEDライトに取り換え工事を行った。



児童館の利用について

三井議員 各児童館で中高生の利用があるが対象外では無いか。

福祉課長 児童センターは中高生の利用も可能である。



第3回定例会(9月)委員会質疑

水源対策 特別委員会

当局より地下水採取の適正化に関する条例に基づき、井戸設置届出(紙漉阿原)、その他2件(山梨大学との包括的連携協定・甲府市上下水道局 昭和取水場送水量について)の報告があった。

井戸の形式について

石原(高)議員 自噴とすることで届出がされているが、バルブを付けて適宜取水するやり方は可能なのか。
環境経済課長 井戸に取水を調整するバルブをつければ、自噴の井戸でも可能。

地方分権対策特別委員会

当局より今後の施設整備について説明があった。

給食センター増築・改修について

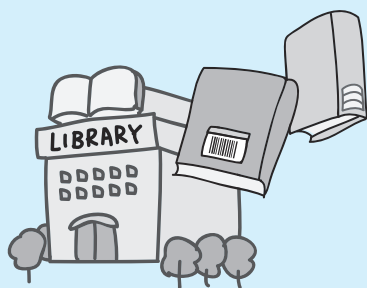
学校教育課長 平成30年度に予定していた工事は、予定通り夏休み期間中に終了し、二学期には給食を提供できている。現在、建設想定時の2000食以上を作っており、来年度の給食提供数が増えるが児童・生徒の増加により2100食を超える量を作らなければならなくなり、再来年度も同様に増えると、建築価格の高騰はあったとしても先延ばしにはできず、予定通り来年度の工事も実施し、最大2500食分

の提供ができるよう増築改修を行う。

(仮)生涯学習館について

生涯学習課長 基本構想を作成し、教育長へ答申をする。

その後、基本構想を具体化する為の基本計画を作成するにあたって、建設検討委員会を母体に、一般からも委員を公募して建設委員会を起ち上げる予定。



産業土木常任委員会

ブロック塀について

遠藤議員 今回、緊急的に学校で調査している物件についてはブロック塀だけということではないのか。

現況においてコンクリートが傾いている箇所もあると思うがブロック塀だけでなくても調査しているのか。

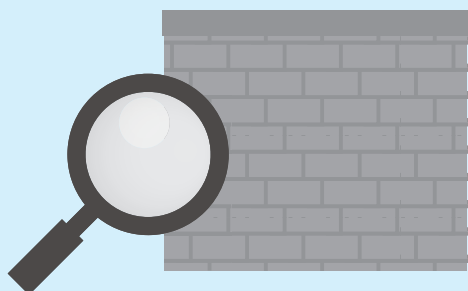
建設課長 今回の調査については学校からの緊急点検の結果をもとに職員及びブロック塀診断士が調査・確認してきた。

また、ブロック塀以外の物件も入っているが、道路管理者として確認をしているので目視した中で通知をしていきたい。

鷹野議員 危険箇所の調査において学校が主体で確認した結果75件が

確認されたが危険とする基準は。

建設課長 学校側の考えについては経験者ではないので基本に従い点検1.2m以上の塀及び見た目で風化した物件を対象にしている。



教育厚生常任委員会

卓球場エアコン設置について

河住議員 押原中学校男子卓球場エアコン設置はどのような理由か。
学校教育課長 窓を開けると、球が風の影響を受ける。
夏季において練習環境が暑い為、単独にてエアコンを設置。

待機児童について

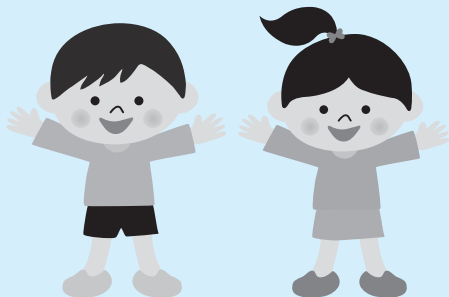
中澤議員 町内では、0歳児も含めて待機児童はいないのか。
福祉課長 待機児童はいないと考えている。
町内の保育園に入れない場合でも親の職場付近の町外の園を紹介するなどして対応している。

総合会館2階トイレについて

三井議員 総合会館2階の女性用トイレの個室が3つあるうち2つが和式だが洋式を増やせないか。
福祉課長 全てを洋式にすることは難しいが、洋式を増やす方向で検討したい。

不登校児童について

中澤議員 夏休みが終了後の不登校児童生徒の状況は。
教育長 昨年度と比較して同程度か増加傾向にある。
先生をはじめスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーにて対応している。



総務常任委員会

液状化危険度マップについて

河田議員 液状化危険度マップでは昭和町の中心地は危険地域であり、周辺には役場、学校があり避難所等災害時の拠点になるので、昭和町でも北海道地震時に発生した液状化現象が起くる危険がある。
町では液状化に対する検討を行っているか。

企画財政課長 液状化については、難しい問題ではあるが、今後マップ等があるが、今後マップ等を参考にしながら避難所の変更等を検討していく。

ふるさと納税について

石原（高）議員 ふるさと納税について、昭和町にはあまり特産品がなく、保養所の締結をしている市町村の品物を返礼品にあてているが、今後返礼品についてはどのように考えているか。

総務課長 国では、ふるさと納税の返礼品を目的として自治体間で協定を締結している場合は、適切とは認めがたいとしているが、本町は保養所や災害応援協定を締結している自治体の特産品を返礼品としているので、それについて県を通じて国に確認してもらう。

第3回定例会(9月)委員会質疑

施策を問う

ここが聞きたい

一般質問の内容は議会事務局及び11月末更新のHP会議録からも閲覧できます。

一般質問

Q 公共施設の機能の見直しを

A 今後の活用状況を見る中で検討したい



いしはら たかあき
石原 高明 議員

石原（高）

来年度から始まる（仮称）生涯学習館の建設に合わせ、町内の公共施設の機能の総点検を行い、類似した機能のある施設は明確に機能を変更、縮小するか、思い切って廃止することが必要ではないか。
新たな施設を造れば、その維持管理に要する費用が

発生し、また機能が似た施設をいくつも持つことで、建設費用の返済と維持管理費の増加という財政を圧迫する要因が重なってしまう。
町は機能を見直していく考えはあるのか。
また押原公園以外の町内の施設の維持管理方法に指定管理者制度の導入など合理的な方法を取り入れる考えはあるか。

町長

総合会館は老人福祉センター、保健センター、働く婦人の家という「生涯学習」とは異なる機能を持っているため、今後も継続した活用を考えている。

また（仮称）生涯学習館建設後の現在の図書館は、高齢化社会を迎える中で自治会をはじめ各種団体等の役員の

高齢化に伴って、事務を手助けできる施設、また地域のみなさんの活動を支援する（仮称）町民活動支援センターとしての活用を考えている。

その活用状況を見る中で見直し等を検討したい。

押原公園以外の町内施設への指定管理者制度の導入などについては、今後、町内の公共施設、特に新設予定の生涯学習館については指定管理者制度を含め、合理的な管理運営方法について検討していきたいと考えている。

再質問

現在の図書館は今後、（仮称）町民活動支援センターとして活用することになるのか、その職員体制はどうなるのか、またどのような部署が所管するのか。

総務課長

センター長を置く中で、臨時職員等を採用して運用できればと思う。

自治体の支援等なので、企画財政課での担当を考えている。

再質問

町職員の再任用雇用を考えているか。

総務課長

センター長については再任用職員の雇用を考えている。
また、臨時職員については、主に資料等のパソコンの打ち込みなどの業務が出来る障がい者の雇用を含めて考えている。





「昭和町教育方針」に 文化芸術活動を盛り込んではどうか



教育施策の柱の一つとして 盛り込めるよう努める



よ だ し げ み
依田 茂巳 議員

依田

ふるさととしての愛着感や郷土愛を醸成し、より文化・芸術活動を振興させることが、本町のまちづくりに必要な人材ではないかと考える。現在策定中の昭和町教育方針にこのような考え方を盛り込んでいくことができるか。

教育長

昭和町第6次総合計画の目指す「豊かな心と文化を育む町」をつくりあげていくため、その基盤となる文化芸術活動を教育施策の一つの大きな柱として「新しい昭和町教育方針」の中に盛り込めるよう努力していきたい。

再質問

新しい教育方針の最終決定の時期はいつか。

学校教育課長

平成31年度を初年度とする新たな教育方針は、年内には教育委員会において原案を示し、検討を行いたい。年度中に開催される総合教育会議で首長に決定してもらい、議会には3月に説明する予定だ。



子育て支援
拠点センターと
民間保育園との連携を



さらに連携を深め、
子育て支援の
質の向上に努める

依田

平成32年からの運営を指している(仮称)子育て支援拠点センターと民間保育園との連携や、就学前教育の充実についてどう考えているか。

町長

民間保育園との連携は以前から深めているが、今後は



生涯学習館建設の
進め方は



最小の経費で
最大の効果が得られる
ように努力する

依田

(仮称)生涯学習館の建設においては、PFI方式など民間活力等を活用した建設手法や、幅広い専門家の関わりなどを建設委員会が広く議論することも重要と考えるが、今後の考えや進め方は。

町長

より詳細な検討や設計を行う際の指針となる「基本計画」を作成していく予定だ。より高度で専門的な知識をもった方々、また町民のみならず

再質問

さんから公募委員の募集なども考えている。施設の建設や維持管理、運営を民間資金とノウハウを活用して行う「PFI方式」についても専門家を交えて協議を行い、最少の経費で最大の効果が得られるよう努力していきたい。

建物機能の有効的な利用方法や世代間をつなぐ仕掛け、町内施設との関わりなどをどう考えているのか。また住民への説明会での説明手法としてオープンハウス型もあるが、どう考えているか。

生涯学習課長

建物機能の有効的な利用方法については、公民館、図書館、文化ホール部分には属さないオープンスペースを設けるという意見がでている。そこを利用して世代間を繋ぐ仕掛けづくりもしていきたい。町内施設とのかかわりでは施設間で情報交換を行い、施設の利用者が行き来しやすい体制をとる。また町民への説明については十分に精査しながら考えていきたい。



洪水ハザードマップの 早急の見直しを



最新版を来年度4月を めどに全戸配布する



あらい ましひこ 議員
薬袋 義久

薬袋

最近では気温が連日40度を
超えたり、豪雨や大型台風
の襲来など、日本各地で自
然災害が起きている。

昭和町にもいつ、どんな災
害がくるか誰も予想できな
い状況だ。

既に発表されている町の
洪水ハザードマップの見直
しの検討が大至急必要だと
思うがどうか。

町長

現在、釜無川を含む富士
川水系の想定最大規模の降
雨に伴う洪水による浸水状
況シミュレーションの予測値を
もとに、洪水ハザードマップの

見直しを行っている。

洪水浸水想定区域図に基
づく浸水状況の変更、町から
発令される避難情報等にお
ける高齢者に配慮した用語
の使用や、指定緊急避難所等
を2階建て以上の建物に変
更することなどの見直しを
進めている。

今年度中に最新版を作成
し、来年度4月をめどに全戸
配布できるよう努める。

再質問

災害において要援護者へ
の協力は不可欠だ。

各区において避難弱者が
把握されているが、その方た
ちがどのように災害を回避
していくのかも、洪水ハザ
ードマップに落とし込んでも
らいたい。

建設課長

要援護者等の災害回避に
対する詳細な記述を落とし
込むのは難しい。最も重要
なのは地域ぐるみの助け合い、
共助、近隣支援だと思われ
る。地域で災害時要援護者
支援の母体作りを計画して
ほしい。

Q 釜無川支流の
確かな検証を

A 優先順位を決めて
対応していきたい

薬袋

昭和町には他市町より流
れ込んでいる釜無川の支流
がいくつかあり、川底も高く
なっているように思われる。

徹底した川底の調査と、
氾濫しやすい危険個所の整
備が必要だと思うが、具
体的にどのような策を検討し
ているのか。

町長

町内に流れ込む二級河川の
調査や浚渫は県が不定期に
実施していて、普通河川は町
が毎年、土砂の堆積の調査を
している。

そのうち山伏川、東花輪
川、清川は各区の要望に基
づいて平成30年度から毎年1カ
所ずつローテーションで川底の
浚渫を開始した。

また災害に備えるための
河川の改修等については、優
先順位を決めて対応してい
きたい。

再質問

いざ有事の際、それは想定
外の出来事でしたでは済ま
されない。

もう一度詳しい答弁を求
める。

建設課長

有事の際の対策としては
常永川については既に県によ
り改修がされている。

除草についても早急に対応
するとの回答を得ている。

町内河川については突然の
豪雨で下流の水門が下げら
れてなかったことが増水の原
因とみられる。

今後は水門の利用者に上
げ下げを徹底してもらい、町
も確認して対応していきたい。



Q

公共事業の入札の平均落札率は また随意契約の入札結果の配布を

A

平均落札率は96.9% 随意契約の入札結果の公表は難しい

河住



かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員

昭和町建設安全協議会に加盟している業者は17社あると聞いているが、町内業者の公共事業の落札業者の割合はどのくらいあるのか。その平均落札率はどれくらいか。また昭和町の随意契約については、何社ぐらいから見積もりを取って入札しているのか。随意契約については、指名競争入札と同じように入札結果報告書の配布はできないのか。

町長

昨年度の公共事業落札業者の町内業者が占める割合は55・6%で、町内業者の平均落札率は96・9%だった。また随意契約については地方自治法に基づいて手続きを行っているが、予定価格5万円以上の時は2人以上から見積書を徴することになっている。随意契約の入札結果報告書の配布については、随意契約は総務課以外にも担当課で実施している案件が多数あり、各年度で処理されている案件は膨大な件数となるので、公表は難しい。

再質問

町内業者の割合、平均落札率の数字について、町はどう考えているのか。

また町内業者の占める割合は、町内業者の育成等を考えるともう少し上がってもいいのではないかと思うがどうか。

総務課長

町は公平、公正な入札を

行っているので、適正な入札方法だと考えている。

また町内業者が占める割合は、業務によっては町内にはないコンサル事業や測量関係、植栽関係などがあり、すべてを含んだ数字になっている。

再質問

平成29年度の随意契約のコピー機のリース契約などは各課で契約しているのか、一括して行っているのか。

総務課長

リース関係は支出負担行為は各課で行い、それを取りまとめて総務課が契約をしているが、各課でリース期間や予算計上も異なるので、契約はその都度行っている。

再質問

年度ごとに一律に契約にすることは可能だと思うが、できないのか。

総務課長

リース契約期間はほとんどが5年契約で、その年度で支払いを行っている。

リース契約期間にズレがあるので、一律にするとズレた部分には違約金が発生するので、どちらの方がいいか検討したい。



Q

洪水ハザードマップの周知徹底を

A

より広く知ってもらえる対応をしていく



河田 あけみ 議員

正する。

また区長会での説明や町主催のイベントでの周知など、より町民に知ってもらえる対応をしていく。

災害、避難情報を

町民に速やかに知らせるツールの導入を

Q
A
今後は「Lアラート」を活用し、さらに調査、研究していく

河田

気象情報の早期把握と、その情報を住民に提供する手段は防災無線だけでよいのか。

また情報を速やかに共有できるツールを導入する考えはないのか。

町長

現在、緊急時の情報伝達手段は防災行政無線が有効であると考えている。

また情報の複線化を図るためホームページやツイッター、メール等も活用し情報提供しているが、高齢者が情報を入手するのが困難なのが課題である。

総務省で取り組んでいる、緊急時の情報をテレビ画面に

文字情報として配信する「Lアラート」を、本町でも活用していく。

さらに新たな情報ツールについても調査、研究していきたい。

Q
A
「子育て世代包括支援センター」のビジョンは

子育て支援を具現化するための施策の一つとして設置する

河田

政府は「子育て世代包括支援センター」の2020年度末までの全国展開を目指しており、市町村にそれを設置することを努力義務とし、自治体の取り組みを後押ししている。

本町はどのようなビジョンで「子育て世代包括支援センター」を目指していくのか。

設置年度はいつ頃を目標にしているのか。

町長

町の第6次総合計画、また第2次健康増進計画においても、子育て支援に係るビジョンを掲げており、それを具現化するための施策の一つとして「子育て世代包括支援センター」を設置するものと理解している。設置年度については、遅くも平成32年度までの設置を目指したいと考えている。

再質問

発達障害や虐待などへの対応も重要であり、今後は福祉課など各課との連携強化が大事だと思うが、どう考えているか。

いきいき健康課長

子育て支援はいきいき健康課、福祉課との連携なくしては成り立たない。

また就学前後の支援まで含めて学校教育課との連携も密になってきている。

保健、医療、福祉、教育の切れ目ない支援をしていくためにも、今後も3課が共働して子育て支援の質的、量的向上を目指したい。

Q

人間ドック受診年齢の引き上げを

A

新しい健康診断の仕組みを 来年度に向けて検討していきたい



たなか ひろよし
田中 博愛 議員

田中

健康で長生きするためには、病気になる前に健診や人間ドック等による早期発見、早期対応が大切である。町では人間ドックは国民健康保険は74歳までの600人限定、社会保険では35〜65歳までの5歳刻みで限定200人となっている。75歳以上の後期高齢者については実費負担となるため、受診を敬遠する人が多いと聞いている。段階的に75歳以上80歳までを保険対象としてはどうか。

町長

75歳以上の後期高齢者の健康寿命の延伸に関わる取り組みは健診のほかに、インフルエンザ予防接種、肺炎球菌ワクチンへの助成、認知症予防に関する事業なども行っている。

また、健康寿命の延伸策は検診事業はもとより保健指導や感染症予防、認知症予防などの介護予防の個別事業を充実させることで、包括的に推進することが重要だと考えていることなどから、75歳以上の方の人間ドックは現時点で実施する予定はない。国民健康保険の人間ドックと、5歳刻みで実施している節目人間ドックとの整合や、高齢者も含めたニーズに合わせたの新しい健康診断の仕組みを来年度に向けて検討していきたい。



Q 小中学校通学路の点検と安全対策の強化を

A 学校、町、保護者、警察の合同点検を計画していきたい

田中

地域の住民と連携して小中学校の通学路の危険箇所は再点検や安全対策を行うことは、子どもたちが事件や事故に遭わないようにするために肝要である。

町では通学路の点検と安全対策についての注意事項をどのように示していくのか。

教育長

既存の見守りボランティア組織の会員数の確認や本人の意思確認などを行い組織の整備を行うことや、警察との間に既に結ばれている「パートナーシップ」連携の強化を行い、情報のスピーディーな伝達を依頼するとともに、再度、学校、教育委員会、保護者、警察との合同点検を今後計画していきたいと考えている。

今後も通学路の安全対策については、子どもたちの安全確保のために全力で取り組みたいと思う。



介護保険の町民への周知の方法は

A

今年度から各地区の出前講座で 取り上げるなど 説明の機会を増やしていく



いしはら かずよし
石原 一好 議員

石原(一)

昭和町では介護保険の申請の仕方がわからないと躊躇する人や、利用することによって抵抗感がある人もいます。介護保険がまだ十分に町民に理解されていないように思う。

町民への周知はどのように行っているのか。今後どのような広報をしていくのか。

また昭和町は人口が2万人を超えたが、町民のうち介護保険を利用している人は高齢者人口の何パーセントか。

近隣の甲府市、甲斐市、中

央市、市川三郷町では、人口に占める認定率はどれぐらいか。

町長

介護保険についての周知は、ここ数年、保険料通知等にパンフレットを同封するに留まっております。町民への直接的な説明の機会が減っていることから、昨年度からいきいき健康課では、各地区で介護保険についてのミニ研修を行っている。

今年度は、12地区ごとに行っている「おたつしや出前講座」の中に、「あらためて聞いてみたい介護保険」というテーマを入れるなど、積極的に地区に向くなどして、町民への説明の機会を増やしている。

本町の認定率については、平成30年4月末時点のデータで、12.0%になっている。

いきいき健康課長

近隣市町の認定率は、平成30年4月末時点で甲府市が19.4%、甲斐市が12.6%、中央市が10.9%、市川三郷町が14.7%、本町が12.0%、ま

た山梨県の認定率は15.5%になっている。

認定率は低い方が元気な高齢者が多いということであり、昭和町は山梨県内27市町村中で6番目に低い認定率になっている。

再質問

他市町よりも認定率が低い理由は何か。

また平成29年度の介護保険の相談件数、申請者数、その中で認定件数は何件だったのか。

いきいき健康課長

他市町よりも認定率が低い理由は断定できないが、大きく二つの要因があると思われる。

一つめは地域包括支援センターでの初期相談を丁寧に行っていること。本人の状態、介護の状態、どんな支援が必要かなどの相談を細やかに、道案内をしっかりと行っている。

二つめは平成18年ごろから取り組んできている介護予防の事業が一定の効果を見せてきていると考えている。

本町では73歳と75歳以上の方全員に介護予備軍になっていないかを早期に見つけるための実態調査を郵送で行っていて、回収率が96%を超えている。

生活の自立度が把握でき、積極的な介護予防が必要な方に対し、早期に支援につながる仕組みがあることが一定の効果をもたせ、その積み重ねが認定率の低さにつながっていると考えている。

また平成29年度の相談の延べ件数は1487件、介護保険の申請件数は434件、そのうち認定された件数は418件になる。



追跡



あの質問は どうなった？

議員の質問に、町当局がその後どのように対応し、どうなっているかを追跡・検証してみました。

追
跡

「中小企業・小規模企業支援のあり方」について (仮称) 中小企業及び小規模企業振興条例制定

平成29年3月議会 質問者: 依田 茂巳議員

問

小規模企業振興基本法の制定及び中小企業法の改正を機に、県・市町村・中小企業者・中小企業関係団体などの関係機関と一体となった施策推進が求められている。昭和町でも中小企業及び小規模企業振興条例制定をしてはどうか。

答

商工業振興協議会を通しての要望もあるので、「中小企業・小規模企業振興に関する条例」については、早い時期に制定できるよう、検討していきたい。

その
後

平成30年6月定例会において、昭和町中小企業・小規模企業振興基本条例を制定し、企業の成長と持続的発展を図っていくこととした。

山梨学院大学との研修会

7月27日(金)午後1時30分～

講師

江藤 俊昭

山梨学院大学大学院
研究科長・法学部教授



内容

地域経営における総合計画

議会の今後の動き

総合計画の策定と運用に関する条例の制定に向けて、議会改革推進会議の中で策定の為の委員会を起ち上げ、協議検討していく。

8月24日(金)午後1時30分～

講師

外川 伸一

法学部政治行政学科
教授



内容

空き家対策と空き家管理条例「事例研究」

議会の今後の動き

空き家対策空き家管理条例を制定している自治体の条例内容から課題等を明らかにし、本町に対応した条例の策定に向けて議員間討議を進める。

広報編集特別委員会研修視察を行いました!

日 時：10月10日(水)～10月11日(木)

場 所：東京都砂防会館・鎌倉市役所

研修内容：議会広報に関する講演、及び議会広報クリニック
鎌倉市議会の議会広報に関する視察研修



ようこそ昭和町へ

—議会視察受入—

9/26 群馬県榛東村議会 しんとう

内容…議会基本条例について他

受け入れ時の意見交換…

議会基本条例の条項について

榛東村：条項の中に「倫理」という言葉が入っていて、珍しいが、なぜ入れたのか。

昭和町：議員として公正性・透明性・信頼性の確保の他、町民の代表として倫理性も同じく重要であると考え、条項に記載した。

井戸端会議の意見聴取後について

榛東村：住民からの意見について、議員の持っている権限だけでは、実現に限界を感じる。井戸端会議で出た意見についてどのように対処しているか。

昭和町：住民意見を一般質問として町へ明確な回答を求める。あるいは現地に赴き解決に向け、住民とのパイプ役として協議の場を設ける。など議員としてできることをした後、各区へ報告している。



広域事務組合議会報告

甲府地区広域行政事務組合議会臨時会 報告

報告議員：塚原 将司・依田 茂巳
(甲府市・甲斐市・中央市・昭和町で構成)

日 時：平成30年7月19日(木)午後1時30分～

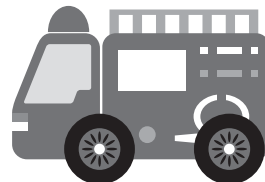
内 容：議案第10号～議案第15号

◎財産の取得について 2案件(消防ポンプ自動車・高規格救急自動車)

◎教育委員会委員の任命について 1案件

◎公平委員会委員の選任について 1案件 ◎監査委員の選任について 2案件

これら案件についてはすべて可決・同意となりました。



中巨摩地区広域事務組合議会 報告

報告議員：遠藤 辰男・金丸 富一
(甲斐市・中央市・南アルプス市・昭和町・富士川町・市川三郷町で構成)

日 時：平成30年9月28日(金)午後1時30分～

内 容：議案第14号～議案第25号

◎一般会計及び特別会計補正予算 5案件

◎一般会計及び特別会計歳入・歳出決算の認定について 6案件

◎監査委員の選任について 1案件 ◎このほか副議長選挙が行われました。

これら案件についてはすべて可決・同意となりました。

三郡衛生組合議会 報告

報告議員：石原 高明・石原 一好
(中央市・南アルプス市・昭和町・富士川町・市川三郷町で構成)

次回は平成30年11月7日(水)午後1時30分～開催予定です。

山梨県後期高齢者医療広域連合事務組合議会 報告

報告議員：三井 猛
(県下27市町村で構成)

平成30年10月22日(月)午後2時～開催しましたが、
内容につきましては次号に記載致します。



飯喰区 (第1回)

6月28日 区公会堂

●出席者

区民 20名

●参加議員

○教育厚生常任委員会

石原 一好

林 和仁

樋口 敏夫

河住 保茂

中澤 康夫

塚原 将司 議長

テーマによる
対話集会

新住民と
旧住民の

融和について

今回、新住民と旧住民の融和について区・組・区行事への参加を促すにあたって、各行政区の事例について紹介。

おもな
意見・要望と
議会の対応

Q かすみ堤西側の第一公園で、時間を問わず花火をする人がいて困っている。

花火禁止看板を設置



し、監視カメラの設置も可能なら要望したい。

A (議会) 地区からの要望をお願いしたい。議会からも担当課に要望する。

A (町) 一般的な注意事項の看板は設置してあり、その中に花火禁止の項目も記載してあるが、花火禁止に特化した看板を第一公園に設置したい。
監視カメラの設置については今後検討していきたい。

築地新居区 (第2回)

7月17日 区公会堂

●出席者

区民 26名

●参加議員

○教育厚生常任委員会

石原 一好

林 和仁

樋口 敏夫

河住 保茂

中澤 康夫

塚原 将司 議長

○地元議員

河田 あけみ

金丸 富一

テーマによる
対話集会

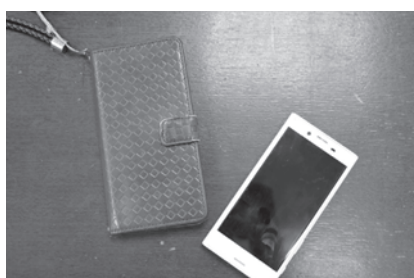
食生活改善
推進委員会と

愛育会について

今回、各会が地域に対してどのような役割があり、どのような状況にあるか説明を受けた。

おもな
意見・要望と
議会の対応

Q 防災関係でツイッターを使用した発信を昭和町ではやっているの



か。防災無線が聞こえない場所があるので対応をお願いする。

A (議会) ツイッターについては確認する。

防災無線については、区からも行政に要望をして欲しい。

A (町) 防災関係のツイッターについては、現在、大規模災害発生時における住民への広報手段の一つとして活用を考えている。

防災無線が聞きづらい件については、築地新居区からも要望を上げていただき、業者とも現地調査を行った上で、音量の調節等を行い改善に努める。

西条新田区 (第3回)

7月28日 区公会堂

●出席者

区民 25名

●参加議員

○総務常任委員会

金丸 富一

石原 高明

河田 あけみ

田中 博愛

堀 門太

塚原 将司 議長

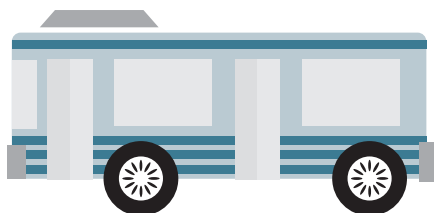
おもな意見・要望と議会の対応

Q イオンモール甲府昭和店とJR甲府駅とを結ぶシャトルバスが運行されており、当区内もバスが通行しているが、区内主要箇所の上下線に停留所を設置して区民の乗降を可能にして欲しい。

A 過去に、町当局がイオンモール甲府昭和店に要望した際には断られている。

しかし、住民からの声が多いということであるので、今回は当委員会としてイオンモール甲府昭和店と交渉する。

A (交渉結果) イオン



紙漕阿原区 (第4回)

8月28日 区公会堂

●出席者

区民 17名

●参加議員

○産業土木常任委員会

葉袋 義久

依田 茂巳

三井 猛

遠藤 辰男

鷹野 一雄

塚原 将司 議長

○地元議員

田中 博愛

石原 一好

おもな意見・要望と議会の対応

Q 沼公園に源氏ボタルが自然発生している箇所がある。

そこに竹藪や草が歩道に出て歩けない状況。竹藪などは地権者に指導を行い、改善できないか。

A 環境経済課で、所有者に指導を行っている。自然環境の保全については、議会においても進めるよう対応する。

Q 釜無川が決壊した場合の被害状況が掲載されていた。



紙漕阿原地域は0.3〜3.0m位で浸水してしまう。対策として、ボートの準備であるとか、避難場所を確保するとかの対応策を講じてもらいたい。

A (議会) 当局に対応策を考えるよう伝えます。

A (町) ボートの準備や避難場所の確保については難しい。

日ごろから避難場所を検討しておいてもらえば、洪水の危険がある場合は、自宅や高い建物の2階以上へ早めに避難をするようにお願いする。本町としては、避難勧告等の発令を適時行うなどの対応をしていく。

平成30年度・井戸端会議 今後のスケジュール表

	月 日	曜 日	地 区	時 間	担当委員会
5	10月19日	金	上河東	19:00 ~	総務
6	11月16日	金	上河東二区	19:30 ~	産業土木
7	11月17日	土	押越	20:00 ~	総務
8	11月18日	日	西条二区	19:00 ~	教育厚生
9	11月21日	水	西条一区	19:30 ~	産業土木
10	11月29日	木	清水新居	19:00 ~	総務
11	12月15日	土	河西	20:00 ~	教育厚生
12	1月18日	金	河東中島	19:30 ~	産業土木

今回は、区の要望により、初の試みとしてテーマを設定し、井戸端会議を開催。





議員記者が行く!のテーマは「町を守る」。今回は昭和町社会福祉協議会の井口会長に取材しました。



Q 社会福祉協議会とはどんな組織ですか？



A 社会福祉協議会は、地域における自主的な活動を支援するとともに協働の仕組みづくりや福祉の風土づくりに貢献します。

住民の主体的な参加のもと、社会福祉事業者や行政との協働により福祉課題を解決し、すべての人が、生きがいのある自立した生活が送れる地域社会の創出のために、住民の理解と協力、参加による福祉のまちづくりを推進する組織です。



Q 主な活動は？



A ○いきいき・ふれあいサロンの運営支援 ○ボランティア活動支援事業 ○いきがいクラブ活動支援事業 ○地域見守りネットワーク ○ボランティア登録・派遣制度 ○住民参加型有償ボランティア事業 ○地域福祉活動の担い手となる支部社協活動の支援 ○福祉車両貸出事業 ○相談事業 ○災害ボランティア育成 ○共同募金配分金事業（ふれあいランチ、マスつり大会）など。



Q 活動で心がけていることは？



A 住み慣れた家庭や地域で自立した生活を送り、安心して過ごせる地域づくりのためには、「地域」の連携が必要です。制度的なサービスが充実しても、近隣の人々が無関心では、地域の福祉向上は望めません。自助（自らの努力でなすこと）、共助（地域等で助けあうこと）、公助（行政等が公的援助を提供すること）にそれぞれ取り組むことが重要になります。

そこで社会福祉協議会では地域の福祉力を高めるため、町内の様々な組織や住民の方々の出会いづくり、地域参加の機会づくりを進めるとともに、協働による様々な取り組みや活動を支援することによる地域の福祉力の向上を心がけています。



会長から町のみなさんへ

何らかの支援を必要とする人たちが住み慣れたところで日常生活が送れるよう、支えあい活動の取り組みをさらに充実していきたいと思っています。

町民の皆様には、当社会福祉協議会で行う各種事業や各地区で行うサロンなどの事業に積極的に参加していただき、地域福祉の向上にご協力をいただきたいと思います。



議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に
図書カードをお送りいたします。

 空欄に当てはまる言葉を入れてください。

- ① 平成29年度決算 財政力指数〇.〇〇!
- ② ほたるんに聞いてみよう 決算の〇〇ってなんだ?
- ③ 井戸端会議 6月~8月 広報掲載区は〇地区!



ヒント

179号

(この号)を
読んでください

No.178に対する

こんなご意見をいただきました!

表紙写真は季節感があってとても良いが、写真の主となるものがわかりにくい。
議会モニターさん

議案名の説明だけではわからない部分がある。
議会モニターさん

全員賛成の議案が多い為、委員会質疑の内容を濃くしては。
議会モニターさん

広域行政事務組合報告も良いが、内容を詳しく知りたい。
議会モニターさん

「ほたるん」は可愛いので、ゆるキャラ(着ぐるみを)作ってください。蛍を前に出している市町村も多いですが、昭和町も「ほたるん」に力をいれて欲しいです。

メールにて(59歳・女性)

ほたるんに聞いてみよう
の説明文章が柔らかな
文体で書いてあるので年寄り
にも良く理解出来ますばらいい
と思います。

ハガキにて(81歳・女性)

【応募方法】

①クイズの答え ②住所 ③氏名(ふりがな)

④年齢 ⑤議会だよりを読んだ感想

を記入して、はがき・FAXまたはメールにてお送りください。議会だよりへの要望・意見等もありましたら、お受けいたします。

【あて先】

●〒409-3880 昭和町押越542-2

昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛

●FAX:055-275-0370

●メール:gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》11月末日 消印有効





昭和町に住んでみて



河東中島区

深澤

敏朗さん

今は昭和町に住んで良かったと思っています。昭和五十年に父がこの地に居を構え、私自身は転職しUターンでこの地に住むことになった。

現役の頃は仕事が忙しく残業も多くて、家にただ寝に帰るだけの生活であった。その頃は両親も健在だったから子育ても任せきり、まさに「おんぶに抱っこ」で、今言うイクメンとは程遠いものだった。地域や町の事まで考える余裕は持ちようがなく会社人間の限られた世界の住人だった。

父が他界し世帯主のバトンが渡され、否応なく地域に関わらざるを得なくなる。それが転機か、組長が回ってきて、お祭り当番も経験し右往左往しながら、その後も求められる事をこなすのが精一杯でやってきた。いつしか、気心の知れる人達も増え、それなりに頼られたり喜んでもらったりで、「ああ、こうして住み心地が良くなるんだ」と実感。住めば都か、今は愛着もあり、この先も住み続けたいと思っている。

昭和町に住んでみて



紙漉阿原区

中山

かおりさん

「中山さん、当たったよ。」

紙漉阿原合社祭の抽選会の場で声を掛けられ景品が当たったと思っていたのですが、この原稿依頼の封筒を茶目つ気たつぷりに手渡されました。九年前の春、引越してきたばかりの頃、家族で今川まつりに誘ってもらい感じた親近感がずっと今も続いています。近所の方に顔を覚えていただける安心感から昭和町の生活が始まりました。

少し無礼講なお祭り、楽しく体を動かせる行事など結び付きや繋がりのおかげはこの町に根付いています。自然に参加して馴染めるコミュニティ形成がされていてとても心地よい町だと思います。

人付き合いをはじめ、子育て、健康維持、買い物、交通の便など本当に良い町だと日々感じながら生活を送っています。

昭和町の方々が築いてこられた住み良い町で、私も一員として町づくりに微力ながら参加していけたらと思っています。

議会防災訓練を行いました！

平成30年8月26日(日)午後1時30分～
緊急時の参集に備え、事前通告なしという形で
議会災害対策本部設置要綱に基づき、訓練を行いました。



● 広報編集特別委員会

委員長 石原 高明
副委員長 堀 門太
委員 林 和仁
金丸 富一
石原 依田
一好 茂巳

議会を傍聴しませんか

次回定例会は12月4日(火)開催予定です
議会事務局 ☎275-8842

